

計画の名称	北陸新幹線を軸とした北陸3県における広域観光活性化計画（重点）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）												
交付対象	福井県												
計画の目標	富山県全域、石川県全域及び福井県嶺北地域においては、平成27年3月に北陸新幹線の長野～金沢間が開業し、令和5年春には金沢～敦賀間の開業を控えるなど、北陸3県における首都圏並びに関西圏への交通体系が大きく進展することを契機として、福井県立恐竜博物館の増設整備など観光集客へ向けた活動が取り組まれているところである。これら活動と一体となった広域的な周遊観光ルートを形成することにより観光を振興し、地域の活性化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	17,060	A	17,060	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		R6
1	【富山県・石川県・福井県 共通目標】 主要観光施設利用者数の増加率を平成30年度と比較し、令和6年度末までに112%以上に増加 【富山県・石川県・福井県 共通目標】 主要観光施設利用者数の増加率 (主要観光施設利用者数の増加率) = (評価時点の主要観光施設利用者数) / (H30の主要観光施設利用者数) × 100	100%	%	112%
2	【福井県 単独目標】 福井県（嶺北地域）への東アジアからの訪問客（宿泊者）数2.7万人（H30）から6.3万人（R6）に増加（3.6万人（133%）の増加） 【福井県 単独目標】 海外（東アジア）から福井県（嶺北地域）への訪問客数（宿泊者数） (東アジアから福井県への宿泊者の増加割合) = (評価時点の年間宿泊者数 - H30の年間宿泊者数) / (H30の年間宿泊者数)	27千人	千人	63千人
3	【福井県 重点計画目標】 福井県（嶺北地域の関係市町）への観光入込客数の増加率を平成30年度と比較し、令和6年度末までに118%以上に増加 【福井県 重点計画目標】 観光入込客数の増加率 (観光入込客数の増加率) = (評価時点の観光入込客数) / (H30の観光入込客数) × 100	100%	%	118%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
その他事項については（参考様式2）整備計画関連事項に記載。												

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
広域連携事業	A11-001	道路	一般	福井県	直接	福井県	国道	改築	(国)416号・白方～布施田バイパス	バイパス整備 L=3.7km	福井市	■	■	■	■	■	1,500		-		
	H18事業化																				
	A11-002	道路	一般	福井県	直接	福井県	都道府県道	改築	(一)福井森田丸岡線・寄安～中筋	バイパス整備 L=0.2km	坂井市	■	■	■			500		-		
	H18事業化																				
	A11-003	道路	一般	福井県	直接	福井県	都道府県道	改築	(一)トリムパークかなづ線・菅野～市姫1丁目	バイパス整備 L=0.8km	あわら市	■	■	■	■	■	1,600	1.2	-		
	H18事業化																				
A11-004	道路	一般	福井県	直接	福井県	都道府県道	改築	(一)水口牛ノ谷線・牛ノ谷	バイパス整備 L=0.8km	あわら市	■	■	■	■	■	900		-			
H18事業化																					
A11-005	道路	一般	福井県	直接	福井県	都道府県道	改築	(一)芦原温泉停車場北野線・あわら市春宮1丁目	現道拡幅 L=0.5km	あわら市	■	■	■			300		-			
H18事業化																					
A11-006	道路	一般	福井県	直接	福井県	国道	改築	(国)365号・梅浦バイパス	バイパス整備 L=1.2km	越前町	■	■	■	■		4,500		-			
H23事業化																					

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果 備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	福井県	直接	福井県	国道	改築	(国) 305号・白浜	現道拡幅 L=0.5km	越前町	■	■	■	■	■	910	—	—
	A11-008	道路	一般	福井県	直接	福井県	国道	改築	(国) 365号・上太田町～ 岡本町	現道拡幅 L=1.4km	越前市	■	■	■	■	■	1,600	3.7	—
	A11-009	道路	一般	福井県	直接	福井県	都道府 県道	改築	(主) 武生インター線	バイパス整備 L=0.6km	越前市	■	■	■			950	—	—
	A11-010	河川	一般	福井県	直接	福井県	一級	改良	(一) 竹田川 河川改修 事業	河川改修 L=100m	坂井市	■	■	■	■	■	280	10.05	—
	A11-011	河川	一般	福井県	直接	福井県	一級	改良	(一) 一乗谷川 河川改 修事業	河川改修 L=100m	福井市	■	■				120	1.21	—
	A11-012	道路	一般	福井県	直接	福井県	都道府 県道	改築	(一) 清水麻生津線・片 山町～南居町	バイパス整備L=1.0km	福井市			■	■	■	3,900	2.12	—
											小計						17,060		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果 備考																			
											合計						17,060		

	R02				
配分額 (a)	956,250				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	956,250				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	417,321				
翌年度繰越額 (f)	538,929				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称：北陸新幹線を軸とした北陸3県における広域観光活性化計画（重点）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>